

岡山の印刷関連業買収

SRHD 後継者不在で承継

物流や貿易、アパレル事業を傘下に持つSRホルディングス(HD、広島県福山市)は印刷関連業のグラフィック機材

(岡山市)の全株式を取得し、21日に契約書を交わした。日本M&Aセクター(東京・千代田)が仲介した。グラフィック

機材は後継者不在の課題を解決し、SRHDのもとで事業存続とさらなる成長を目指す。

岡山市内で同日、M&A(合併・買収)成約式を開いた。グラフィック機材は1991年に設立。印刷材料や印刷機器の卸のほか、プリント加

工やオリジナル商品の販売などを展開、2022年6月期の売上高は2・9億円だった。

財務も健全だが、経営を担ってきた樋口俊介氏が75歳となり、事業承継が課題だった。年数件のM&Aを実行するSRHDがグラフィック機材の

印刷機械を使ったオリジナル商材などに着目。技術力のある人員確保や新販路獲得、傘下事業との連携で両社の成長へ相乗効果が見込めると判断した。株取得額は非公表。

グラフィック機材の従業員約10人は雇用を継続する。樋口氏は「一からやってきた(会社を)手放すことに一抹の寂しさはある。社員らのことを考え(決断した)」と話した。